無料予防教育

平成 30 年度文部科学省委託事業 依存症予防教育推進事業

https://isonyobou.jimdofree.com/



新しい依存症予防教育

何? と思っている方もぜひ

ご参加ください。

教育関係者や保護者、地域住民に依存症に対する正しい理解を深める場を提供します。

依存の問題は、薬物だけでなくインターネット、ゲームなど幅広い分野に広がっています。実は私たちの身近にある依存について、一緒に考えてみませんか? ハマってしまう背景に何があるのか。予防には何が大切なのか。経験豊富な支援者、依存経験者、家族の視点から情報を共有し、皆様と一緒に考える新しいタイプの予防教室です。地域で予防や支援に関わってる方はもちろん、依存症って

青森教室

あぬたの身近にある依存症

平成30年8月18目(生)

会場

青森県観光物産館

TANK







13:00~ 開会あいさつ・来賓あいさつ

13:35 ~ 薬物依存当事者 (青森ダルク)

13:50 ~ ネット・ゲーム依存当事者 (手記又はビデオ)

14:05 ~ 薬物依存者の家族(青森家族会)

14:20 ~ ネット・ゲーム依存とは (子どものネットリスク研究会研究員)

14:55 ~ 休憩

15:00 ~ 薬物依存症とは (小林 桜児氏:神奈川県立精神医療センター専門医療部長)

15:35 ~ トークセッション (司会 近藤 京子 氏)

16:25 ~ アンケート記入・閉会

主催

団体名: NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会

代表者名:理事長 横川 江美子

所在地:東京都足立区竹ノ塚 5-18-9-207

TEL: 03-5856-4824 Fax: 03-5856-4827

E-mail: yakkaren@ck9.so-net.ne.jp WEB: http://www.yakkaren.com/

後援

青森県・青森県教育委員会・青森県養護教員会

青森市・青森市教育委員会

プロフィール

小林 桜児 氏

平成 12 年信州大卒。

横浜市大附属病院で研修後、NTT 東日本伊豆病院、神奈川県立精神医療センター、国立精神・神経医療研究センター病院を経て、平成 25 年~神奈川県立精神医療センターに戻り、平成 30 年 4 月~医療局長。専門はアルコール・薬物依存症の臨床。

やっかれん・プログラム・コーディネーター 近藤 京子 氏

編集ライター。

平成 11 年より ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)発行・季刊 Be! の編集に参加。

平成 21 年、スペインの民間支援機関プロジェクト・オンブレで特別研修を受ける。

依存症施設や家族会でプログラムを実施している。

子どものネットリスク 教育研究会

平成 27 年 5 月に弘前大学「ネット&いじめ」問題研究会の継続組織として発足。関東と青森を主な活動拠点としている。代表大谷良光。ネット長時間利用による健康被害・学力低下問題を中心に啓発・調査・研究活動を行っている。ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会と連携し、草の根的に地域で活動できるように講演ができる人材づくりにも力を入れている。

今回の講演ではネット依存に陥るその背景、子どもたちの利用実態について触れ、各種調査やエビデンスをもとに「なぜハマってしまうのか」子どもたちの心理と巧妙な仕掛けを紐解きながら、ネット長時間利用に様々な被害の現状をつかんでいただき
薬物の

青森家族会

依存症は、

家族を巻き込む病気です。

それを理解させてくれたのが家族会です。 家族会には、 同じ悩みを持った仲間がいます。

独りで悩みを抱え込まず、勇気を持って家族 会に参加して、依存症者を変えるのではなく、ま ず自分を変えてみませんか。

貴方と同じ悩みを持った仲間が待っています。

口吽。

青森家族会例会

日時:原則として毎月第2土曜日 13:00 ~ 16:00

場所:西部市民センター

青森ダルク

当施設は、ミーティング、ボランティア活動などを通して、アルコール、薬物の依存症から回復し、社会復帰までの訓練をする場です。また、学校や地域団体の要請に応じ、薬物乱用予防の学校公演や、刑務所での薬害教育への参加等、予防・啓発事業も行っております。











当日参加も可能、先着 140 名

お名前		
メールアドレス		該当する項目の□にチェックを入れてください。
所属	□行政 □教育 □医療 □当事者家族 □回復支援施設 □アディ	クション関係団体 □薬家連 □学生 □報道 □一般
お知りになった経緯	□ウェブサイト □友人 □ニュースレター □チラシ □薬家連 □その他広告	